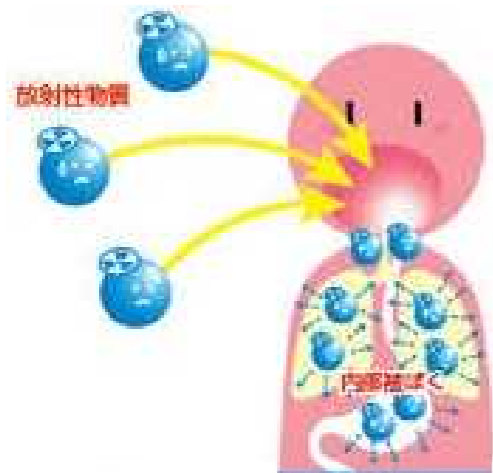


# 安全な食品を子どもたちに

2011年3月に起きた福島第一原発事故は収束せず、放射能汚染は今も静かに広がっています。

事故から30年近くたったチェルノブイリからは深刻な健康被害が報告されています。

そのほとんどは食べ物からの内部被ばくによるものであると言われています。



70年前までこの世になかった核実験などによる人工の放射性物質を私たちは摂取するようになりました。

事故後、放射線量は格段に高くなり、国が安全という基準値は今までの摂取量と桁違いです。

	単位	事故前 (H20 年度) の食品放射線量*	厚生労働省 H24 年度基準値
上水	Bq/L	0.00004	10 <b>25万倍</b>
米	Bq/kg	0.012	100 <b>8,300倍</b>
根菜	Bq/kg	0.008	100 <b>12,500倍</b>
葉菜	Bq/kg	0.016	100 <b>6,300倍</b>
牛乳	Bq/L	0.012	50 <b>4,200倍</b>
魚類	Bq/kg	0.091	100 <b>1,100倍</b>
製茶 (乾燥)	Bq/kg	0.240	100 <b>420倍</b>
日常食	Bq/人/日	0.019	?

\*セシウム 137 の値です。厚生労働省基準値はセシウム測定値です。  
 福島原発事故前は明確な基準値がなかったため全国の食品のセシウム平均値を示した。  
 出典：日本分析センター平成 20 年度事業報告書より。  
<http://www.jcac.or.jp/uploaded/attachment/57.pdf>

今でも39の国/地域で日本の食品を輸入停止や検査強化しています。2015年8月現在



安心・安全のネットワーク

を創りましょう



資料提供/お問い合わせ

save life from nukes で検索

☎080-5325-7128

